

なかつがわ



令和6年 中津川市議会 5月臨時会・6月定例会

市の花 サラサドウダン



令和6年4月から 幼稚園・保育園・こども園の3歳児以上の給食費を無償化

目次

議会の構成	②
5月臨時会議案	③
6月定例会議案	④
予算決算委員会報告	⑥
常任委員会報告	⑧
一般質問	⑨
令和5年度各会派の政務活動費による組み	⑬
令和6年度各会派の取り組み	⑭
編集後記他	⑯

トピックス

- 議会の新体制が決まりました
5月の臨時会において、議長、副議長をはじめとする議会の役職等が決まりました。(2ページ)
- 給食費が無償化に
幼稚園・保育園・こども園に在籍する3歳以上の給食費が令和6年4月にさかのぼって無償化となりました。(6ページ)
- 令和6年度所管事務調査(8ページ)

議第35号 予算決算委員会報告

■補正予算.....8億2,078万円

- 1.エネルギー・食料品等価格高騰対策(低所得者支援給付金事業).....512,126千円
①令和6年度に新たに住民税非課税あるいは均等割のみ課税となる世帯、1世帯当たり10万円支給
②上記世帯に18歳以下の児童がいる場合、児童1人当たり5万円を加算支給
③定額減税しきれないと見込まれる所得水準の方に減税不足給付額を支給
2.緊急対応が必要な事業(会議棟建設工事の予算増額).....308,656千円

■債務負担行為の補正

- 1.調理場整備事業(想定を上回る人件費の高騰や物価の高騰が発生したため。).....(変更前)限度額546,275千円→(変更後)限度額766,275千円

6月定例会

議案の詳細につきましては、市ホームページをご覧ください



陳情

陳情の詳細はこちらから→



陳情

選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書の提出についての陳情

【陳情の要旨】

選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書を国に提出してください。

【陳情の理由】

別姓を望む人に、その選択を認める選択的夫婦別姓制度の導入を求める声はますます切実です。現行の民法では夫婦別姓での婚姻が認められないため、望まぬ改姓、事実婚、通称使用などによる不利益・不都合を強いられています。

夫婦同性を強要している国は日本以外にはなく、両性の平等と基本的人権を掲げた憲法に反します。婚姻の際実際には96%が夫の姓になっているのは間接的な女性差別であり、国連の女性差別撤廃委員会をはじめとする国連や国際機関も、日本政府に対し、民法の差別的規定の廃止を繰り返し勧告しています。法制審議会は1996年に選択的夫婦別姓の導入などを含む民法改正の要綱を答申していますが、28年間たなざらしのままです。

5月1日に発表されたNHKの世論調査では「選択的夫婦別姓制度」に賛成は62%、反対は27%で、特に若い世代では賛成が多いとの結果が示されました。

また、今年1月には、経団連が「国際機関で活躍する研究者の継続的なキャリアを阻害する」などの具体例をあげ、選択的夫婦別姓制度導入を政府に要望しました。3月8日には、経済同友会も「選択的夫婦別姓制度」に賛同を表明しました。

夫婦同性を義務にするのではなく、「選択的」にすることで、他の人には迷惑をかけることなく幸せな人が増えます。多様性を大切にしている先進国からすると、大幅に遅れている日本のジェンダー平等(2023年ジェンダーギャップ指数世界125位)の解決の一助として、国に対し、選択的夫婦別姓の法制化を求める意見書をあげられますよう、陳情いたします。

文教民生委員会審査内容

賛成論がある一方反対論もあり、市民の中に広く合意ができていない現状であり、親子関係のあり方等議論が深まっていない現段階では、国に対し選択的夫婦別姓の法制化を求めることは考えておりません。

議会だより ③ なかつがわ

議会の構成

5月臨時会は、5月15日に開催され、選挙により、正副議長が決定しました。そのほか、各委員会委員の選任、議会役職などを決定しました。



正副議長あいさつはこちら→



【議長】島崎 保人 【副議長】長谷川 透 【監査委員】黒田とこ

《常任委員会・議会運営委員会》◎=委員長、○=副委員長

委員会		氏 名									
常任委員会	総務企画委員会(7人)	◎宮崎 寿明	○岡崎 隆彦	田口 文数	吉村 浩平	木下 律子	島崎 保人	松崎 誠			
	文教民生委員会(7人)	◎糸魚川伸一	○牛田 敬一	鷹見 憲三	勝 彰	黒田とこ	吉村 孝志	田中 愛子			
	産業建設委員会(7人)	◎吉村 俊廣	○榊松 直子	鷹見 信義	長谷川 透	林 友義	團原 武嗣	小池 菜摘			
	予算決算委員会(21人)	◎榊松 直子	○吉村 浩平	鷹見 信義	吉村 俊廣	田口 文数	勝 彰	岡崎 隆彦	黒田とこ	林 友義	
議会運営委員会(7人)		◎田口 文数	○吉村 孝志	榊松 直子	岡崎 隆彦	吉村 浩平	木下 律子	宮嶋 寿明			

《特別委員会》◎=委員長、○=副委員長

特別委員会		氏 名									
リニア中央新幹線対策特別委員会(7人)		◎榊松 直子	○田口 文数	鷹見 信義	鷹見 憲三	牛田 敬一	林 友義	小池 菜摘			
議会改革特別委員会(7人)		◎岡崎 隆彦	○吉村 俊廣	島崎 保人	黒田とこ	宮嶋 寿明	松崎 誠	田中 愛子			
病院・医療等対策特別委員会(7人)		◎吉村 浩平	○吉村 孝志	勝 彰	木下 律子	長谷川 透	糸魚川伸一	團原 武嗣			

5月臨時会

議案の詳細につきましては、市ホームページをご覧ください



	議案番号	件 名	委員会審査		議決結果
			付託委員会	審査結果	
報告	報第2号	専決処分の承認を求めることについて	—	—	承認
補正予算	議第35号	令和6年度中津川市一般会計補正予算(第1号)	予	可決(全会一致)	原案可決
人事	議第36号	中津川市固定資産評価委員の選任につき同意を求めることについて(吉田 正さん)	—	—	同意

総：総務企画委員会 文：文教民生委員会 産：産業建設委員会 予：予算決算委員会

■専決処分の承認を求めることについて(専決日 令和6年3月30日)

- 1.中津川市税条例の一部改正について(専第2号)
①令和6年能登半島地震災害に係る個人市民税の雑損控除額等の特例 ②個人住民税の定額減税
③土地に係る固定資産税の負担調整措置の継続 ④地方税法の改正に伴う項ずれ等の改正
2.中津川市都市計画税条例の一部改正について(専第3号)
①土地に係る都市計画税の負担調整措置の継続 ②地方税法の改正に伴う項ずれ等の改正
3.中津川市地方活力向上地域における固定資産税の課税免除及び不均一課税に関する条例の一部改正について(専第4号)
①地方拠点強化税制の適用期限を「令和6年3月31日まで」から「令和8年3月31日まで」に延長
4.中津川市過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の適用に伴う固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について(専第5号)
①減収補填制度における適用期限を「令和6年3月31日まで」から「令和9年3月31日まで」に延長

議会だより ② なかつがわ

■中津川市副市長定数条例の一部改正について

中津川市が抱える多くの事業や課題に対し迅速かつ丁寧に対応するとともに、持続可能なまちづくりを行うため、市の組織体制を整備、強化することを目的とし、副市長の定数を「1人」から「2人以内」に改めるものです。

■財産の取得について

工事名	納入先	数量	契約金額	契約の相手方
大型水槽付消防ポンプ自動車	北消防署	1台	70,290,000 円	(株) ウスイ消防
消防ポンプ自動車	坂本分団 第 1 部	1台	43,978,000 円	
	坂下分団 第 2 部	1台		
教師用校務系パソコン	小学校	200台	93,500,000 円	(株) システムヨシムラ
	中学校	150台		
厨房機器	坂本学校給食共同調理場	一式	167,200,000 円	タニコー(株)

■工事請負契約の締結について

工事名	契約金額	契約の相手方
(仮称)会議棟建設工事 建築主体工事	275,000,000円	宮島建設(株)
東濃5市消防指令センター 高機能消防指令システム設置工事(個別分 中津川市)	250,470,000円	中央電子光学(株)
坂本学校給食 共同調理場建設工事	建築主体工事	501,600,000円 加地・三和特定建設工事共同企業体
	機械設備工事	345,400,000円 五十嵐工業(株)
	電気設備工事	154,075,636円 極東電信工事(株)

ガザ地区における早期停戦と人道状況の改善を求める決議

2023年10月からパレスチナ自治区ガザ地区を支配するイスラム組織ハマスとイスラエル軍との戦闘が始まり、双方に多数の死傷者が出ている。特にガザ地区の死者数が3万人を超え、市街地に甚大な被害をもたらし、110万人が壊滅的飢餓に見舞われている。

国連総会でも緊急特別会合を開き、パレスチナ自治区ガザ地区におけるイスラム組織ハマスとイスラエルの戦闘の「人道的な即時停戦」を求める決議案を日本を含む153カ国が賛成多数で採択している。本市議会としては、世界平和を希求する全ての市民と共に、一刻も早い紛争の終結に向け、関係する全ての当事者と国際社会に対し、最大の努力を求める。

- 1 即時かつ持続的な人道的停戦とともに、人質の即時解放を求める。
- 2 国際法の遵守及び国連総会決議の尊重を求める。
- 3 危機的人道状況の改善のための人道支援の強化を求める。

以上、決議する。

令和6年6月27日

中津川市議会

※上記の決議については全国市議会議長会へ報告しました

賛否が分かれた議案の議決結果

議案	会派 氏名	中津川自民クラブ												公明	市民ク	共産	9	コ	ネ	無	議決 結果
		鷹見 憲三	勝 彰	岡 隆彦	吉村 浩平	吉村 俊人	島崎 孝志	長谷川 透	宮嶋 寿明	林 友義	小池 菜摘	田口 文数	糸魚川 伸一								
議第37号	令和6年度中津川市一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	原案可決 賛18反2
議第38号	中津川市職員定数条例の一部改正について	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	原案可決 賛17反3
議第41号	岐阜県後期高齢者医療広域連合の処理及び規約の変更について	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	原案可決 賛18反2
議第46号	中津川市副市長定数条例の一部改正について	○	○	○	○	○	議長	退席	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	原案可決 賛17反2
議第52号	工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	原案可決 賛17反3

※公明：市議会公明党、市民ク：市民クラブ、共産：日本共産党、9：中津川9の会、コ：地域コネクト、ネ：市民ネット、無：無会派

議会だより ⑤ なかつがわ

	議案番号	件名	委員会審査		議決結果
			付託委員会	審査結果	
報告	報第3号	縦越明許費縦越計算書の報告について(令和5年度中津川市)	—	—	—
	報第4号	縦越計算書の報告について(令和5年度中津川市水道事業会計予算)	—	—	—
	報第5号	縦越計算書の報告について(令和5年度中津川市下水道事業会計予算)	—	—	—
	報第6号	縦越計算書の報告について(令和5年度中津川市病院事業会計予算)	—	—	—
条例	議第38号	中津川市職員定数条例の一部改正について	総	可決(賛成多数)	可決(賛成多数)
	議第39号	中津川市キャンプ場等の設置等に関する条例の一部改正について	産	可決(全会一致)	可決(全会一致)
	議第40号	中津川市薬木曾花街道センター施設の設置等に関する条例の一部改正について	産	可決(全会一致)	可決(全会一致)
	議第46号	中津川市副市長定数条例の一部改正について	総	可決(全会一致)	可決(賛成多数)
人事	議第57号	中津川市副市長の選任につき同意を求めることについて	—	—	同意(全会一致)
その他	議第41号	岐阜県後期高齢者医療広域連合の処理する事務及び規約の変更について	文	可決(賛成多数)	可決(賛成多数)
	議第42号	市道路線の認定について	産	可決(全会一致)	可決(全会一致)
	議第47号	財産の取得について(水槽付ポンプ自動車)	総	可決(全会一致)	可決(全会一致)
	議第48号	財産の取得について(消防ポンプ自動車)	総	可決(全会一致)	可決(全会一致)
	議第49号	財産の取得について(パソコン)	文	可決(全会一致)	可決(全会一致)
	議第50号	財産の取得について(厨房機器一式)	文	可決(全会一致)	可決(全会一致)
	議第51号	工事請負契約の締結について(会議棟)	総	可決(全会一致)	可決(全会一致)
	議第52号	工事請負契約の締結について(消防指令センター)	総	可決(賛成多数)	可決(賛成多数)
	議第53号	工事請負契約の締結について(坂本学校給食調理場)	文	可決(全会一致)	可決(全会一致)
	議第54号	工事請負契約の締結について(坂本学校給食調理場)	文	可決(全会一致)	可決(全会一致)
	議第55号	工事請負契約の締結について(坂本学校給食調理場)	文	可決(全会一致)	可決(全会一致)
補正 予算	議第37号	令和6年度中津川市一般会計補正予算(第2号)	予	可決(全会一致)	可決(全会一致)
	議第43号	令和6年度中津川市一般会計補正予算(第3号)	予	可決(賛成多数)	可決(賛成多数)
	議第44号	令和6年度中津川市下水道事業会計補正予算(第1号)	予	可決(全会一致)	可決(全会一致)
	議第45号	令和6年度中津川市一般会計補正予算(第4号)	予	可決(全会一致)	可決(全会一致)
議会提案	議第56号	ガザ地区における早期停戦と人道状況の改善を求める決議について	—	—	可決(全会一致)

総：総務企画委員会 文：文教民生委員会 産：産業建設委員会 予：予算決算委員会

■中津川市職員定数条例の一部改正について

災害に対応する能力の向上や働きやすい職場環境の実現と健康増進を図るには、喫緊の課題に対応する必要があります。不足する人員を確保するため消防機関の職員の定数を増やすものです。119人→127人。

■中津川市キャンプ場等の設置等に関する条例の一部改正について

昨今の人件費や物価の高騰により施設運営に影響が出ており、施設使用料を改正するものです。
対象施設：桜の湖ふれあい村、桜の湖自然公園、夕森キャンプ場

■岐阜県後期高齢者医療広域連合の処理する事務及び規約の変更について

マイナ保険証を基本とする仕組みに移行することに伴い、「被保険者証」及び「資格証明書」に関する事務を取りやめ、「資格確認書等」に関する事務を開始するものです。

議会だより ④ なかつがわ

予算決算委員会報告（補正予算）

- ・私立の幼稚園・保育園・こども園は運営事業者が副食費相当額を補助
- ・食物アレルギー等により給食の提供を受けない園児の保護者には、無償化相当額を補助。（特例給食費補助金）

小・中学校の特別教室のエアコン設置にかかる設計の実施

- ・小学校施設営繕事業（12校、114室）……………6,149千円
 - ・中学校施設営繕事業（11校、127室）……………6,851千円
- 児童、生徒の学習環境の向上を図るため、小・中学校の特別教室へのエアコン設置に必要な設計を実施。（設置工事は令和7～8年度に実施予定）

苗木城跡周辺散策道整備にかかる設計を実施

- ・観光施設管理事業……………7,900千円
- 令和8年に築城から500年を迎える苗木城跡の魅力高め、さらなる誘客と周遊につなげるために、苗木城跡周辺散策道整備に向けた設計を実施



②緊急対応が必要な事業

1,856万5千円

- ・訴訟等への対応を弁護士に委任（社会福祉総務事業）……………843千円
- 障害福祉サービス事業所に対する給付費返還請求の裁判が終了。顧問弁護士への成果報酬支払いと、今後の相手側との交渉着手金の支払い。
- ・訴訟への対応を弁護士に委任（消防本部事務事業）……………1,758千円
- 中津川市消防救急デジタル無線整備工事にかかる、損害賠償請求住民訴訟控訴事件の和解が成立。顧問弁護士への成果報酬の支払い。
- ・奨学資金貸付金予算を増額（育英事業）……………2,720千円
- 当初の見込みより多くの申請があり、貸与基準を満たす選奨生が増加するための増額。（新規貸与見込み件数 58件）

【下水道事業会計】

- ・浄化センターの脱水機を修繕（公共処理場費）……………13,244千円
- 経年劣化により故障した中津川浄化センターの脱水機を修繕。

6月補正予算(追加)の概要②

- 補正を行う会計……………1,083万9千円
- ・一般会計……………1,083万9千円

<主な事業>

人件費の補正

- ・職員給与費……………10,839千円
- 市の組織体制を整備、強化することを目的として、副市長の定数を「1人」から「2人以内」に変更することに伴う必要額の補正。

予算決算委員会報告（補正予算）

補正予算の詳細につきましては、市ホームページの6月補正【概要】をご覧ください。



6月補正予算の概要

- 補正を行う会計……………3億1,034万5千円
- ・一般会計……………3億1,034万5千円

<主な事業>

①国・県補助金等を活用しての事業実施

1億8,027万7千円

- ・新型コロナワクチンの秋冬接種実施費用……………130,630千円
- 予防接種法に基づく定期接種として、65歳以上の高齢者と60～64歳の心臓、腎臓、呼吸器、免疫機能障害があり身体障害者手帳1級相当の方のうち、希望者に対して年1回実施。
- ・観光広域連携事業の増額……………22,500千円
- 中津川・塩尻・木曽・下伊那広域連携SDGs推進協議会において、リニア時代に備えた持続可能なスローツーリズムの構築事業を実施
- ・元気な農業産地構造改革支援事業の増額……………1,765千円
- ・畜産振興対策事業の増額……………16,363千円
- ・中津川市の未来を担う人材育成事業……………442千円
- ・付知B & G海洋センターのLED照明取り付け工事……………8,577千円

②寄付金を財源としての備品購入等

110万円

- ・落合小学校の図書購入……………100千円
- ・教育基金への積み立て……………1,000千円

③緊急対応が必要な事業

1億2,896万8千円

- ・西部テクノパークの高盛土安定検討・地質調査等の委託……………58,141千円
- ・退職消防団員へ退職報償金を支給（支給対象者126名）……………48,827千円
- ・落合と神坂の小学校と中学校の令和8年度4月統合に向けた、落合小学校と落合中学校の改修工事実施設計委託……………各11,000千円

6月補正予算(追加)の概要①

- 補正を行う会計……………8,103万1千円
- ・一般会計……………6,778万7千円
- ・企業会計（下水道事業会計）……………1,324万4千円

<主な事業>

①「ひとづくり」「地域づくり」を推進する事業

6,246万6千円

- ・【新規】幼稚園・保育園・こども園の3歳以上児の給食費を無償化……………41,566千円
- 幼児期の子どもを育てる比較的若い保護者の経済的負担を軽減するため、認可を受けた市内の全幼稚園・保育園・こども園に在籍する3歳以上の給食費を無償化。
- ※主食は今までどおり、持参または園への支払い。
- ・令和6年4月分から遡って無償化を実施。
- ・公立の幼稚園・保育園・こども園は副食費を徴収しない。

一般質問 ここが知りたい!

一般質問は、議員が市政全般について、その事務の執行状況や将来の方針等の報告・説明を求め、または質問することです。今回は 10 人の議員が行いました。その中から主な質問と答弁の要旨を紹介します。

質問等の詳細につきましては、市議会ホームページの「映像配信」または「会議録」をご覧ください。

映像配信はこちらから→



会議録はこちらから→



③ 休みやすい環境作りはもちろん、働きやすい環境作りを、自ら先頭に立って作っていかないと考えております。

(副市長)

② 管理職や非管理職、性別に限らず、両立が困難と感じている職員がいることは承知しており、状況に応じて取得可能な制度を説明しています。

(副市長)

① 取得を義務化することはできませんが、取得促進を図っており、退院の日から取得出来るよう柔軟な対応をしています。

(副市長)

答

問

仕事と子育ての両立支援プランについて

小池 菜摘

答

問

書かないワンストップ窓口について

糸魚川伸一



① 市民の利便性を高め、職員の負担を軽減する書かないワンストップ窓口は検討していくべきと考えており、導入自治体の先進事例を参考にしつつ、中津川市に適した書かないワンストップ窓口の導入の検討を進めています。

② コンビニ交付につきましては、書かない窓口サービスのひとつと考えますので、導入自治体の状況などを確認しながら判断していききたいと考えます。

(市民福祉部長)

常任委員会報告

政策提言書の詳細につきましては、
こちらから→



市議会だより 40 号で報告を行った 3 常任委員会から市への政策提言に対して、回答がありましたので、概要を報告します。

◆総務企画委員会

地域一括交付金について

- ・まちづくりを行うために、事務局員が必要不可欠と考えおり、一括交付金の事務局支援分の増額を行っていますが、今後も各事業の評価をし、財政的協議を進め制度の見直しを検討してまいります。
- ・事務局拠点と公民館の指定管理に関しては、所管部署と協議を進め、地域の意向を踏まえながら検討してまいります。また、事務局体制は、地域が望む形を確認し、可能な支援に努めてまいります。
- ・長期の計画性のある事業等については、柔軟に対応できるよう繰越額 2.5 % 以内とする制度の見直しを図ってまいります。

◆文教民生委員会

障がい者の雇用・就労支援について

- ・障がい者の「働く」を大切にする施策を進めるため、事業主、経済団体、障がい者団体等との連携を強化し中津川市障害者雇用促進協議会に実働的な組織となるよう働きかけていきます。
- ・企業・作業所と障がい者の双方に向けて情報発信のできるガイドブックを作成します。
- ・障がい者の一般就労、福祉的就労を促進するため、ハローワーク等、関係機関との連携強化を行っていきます。
- ・新たな施策として、就労に係る移動手段への支援研究を盛り込み、交通費補助制度については、早期実施に向け取り組んでいきます。
- ・就労継続支援 (A 型・B 型) 事業者及び小規模作業所の活動内容について、ハローワークと連携し、市内の企業に対して福祉的就労事業所の案内等、周知を行っていきます。

◆産業建設委員会

上下水道施設の老朽化と人口減少が当該事業に与える影響について

- ・上水道事業においては、非常に厳しい経営環境にありますが、県水道広域化推進プランにおける検討部会にて「経営の一体化」「施設の共同化」「管理の一体化」について県、受水市町と議論を深め、当局にとっての利益、不利益を検討しながら具体的計画案の作成を進めます。
- ・財政見直しについては、令和 3 年 3 月に答申を受け料金改定に向け取り組んでいましたが、コロナ禍における物価高騰対策として料金改定を見送っており、一般会計から補助金を頂いています。今後料金回収率 100 % を目標に料金改訂の準備を進めていきます。
- ・下水道事業の整備計画については、ストックマネジメント計画に基づき財源を確保したうえで更新を進めるとともに、合併処理浄化槽への転換も考慮し、マンホールポンプの削減を目指します。併せて下水処理施設の統合など必要に応じた施策を実施します。

令和 6 年度 常任委員会 所管事務調査

総務企画委員会	消防活動の現状、課題及び今後について
文教民生委員会	図書館機能を中心とした現状と更なる活用について
産業建設委員会	市内企業の労働者不足の課題と対策について



(定住推進部長)

答

①地域の環境美化の保全には地域の協力が必須であり、将来にわたり活動するためにも推進員は必要と考えます。今後は会議を企画開催とするなど推進員の負担軽減に努めます。
②他団体等との活動の重複、人口減少等の状況を踏まえ、交通安全女性の役員会等で早急に検討したいと考えます。(総務部長)
③市では、各種委員の役割や必要人員の見直しを進めています。更に自治会負担の軽減を進めるには各自治会固有の委員についても見直しに取組む必要があると考えます。

問

自治会役員のなり手不足について

宮嶋 寿明



(商工観光部長)

答

就職を希望する高校生が市内企業を知る取組みを強化する必要があると考えており、新たな取り組みとして、生徒が希望する事業所を個別に見学し、企業のことを知ることができる制度を現在検討しています。さらに、就職を希望する高校生と企業をマッチングする機会の充実や企業見学、Uターンセミナーなど、従来からの取り組みも強化し、継続していきます。

問

人口減少と労働者の確保について

松崎 誠

答

①J・R東海は、環境保全計画書において、水量の不足など、やむを得ず重要な水源の機能を確保できなくなった場合の代償措置を示しており、市としては、ため池についても具体的な資料と対応策を提示するよう求めています。
②湧水や水位低下が起きた場合、予め提示する必要があると思います。市の対応はいつまでどのような形で伝えられますか。

問

リニアによる住民不安について

田中 愛子



(リニア都市政策部長)

答

①市全体の医療を考えるうえで、坂下診療所を民営化することが、デメリットとなることであってはならないので、その点を現在、検証しています。
②坂下診療所の民営化については、市民病院、市内の医療機関を含めた市全体の医療体制を守る中で判断すべき問題と考えています。民営化を進める場合は、東濃圏域地域医療構想等調整会議や中津川市の医療を支えていただいている医師会等の調整も必要だと考えています。(病院事業部長)

問

中津川市の医療と坂下診療所の民営化について

木下 律子



(病院事業部長)

答

①苗木城跡は令和8年に築城から五百年を迎えます。苗木城に関わる歴史的資源・文化財としての価値を市内外に認知していただき、次世代へ継承していく必要があります。築城五百年を契機とした集客イベントの実施も大切ですが、一過性のイベントにとどまらず、苗木城跡が市の核となる観光拠点として市内の他の観光資源への周遊に繋がるよう取り組みます。
②事業を進めるには実行委員会が必要です。令和7年度にはプレイベントなどを検討しており、8年度には実行委員会を設立する必要があると考えています。商工関係、地域、大学生、高校生などを含めた、幅広い分野の方々と連携して事業計画を進めていきます。(商工観光部長)

問

観光事業について

牛田 敬一



(商工観光部長)

答

令和6年2月に岐阜県理容生活衛生同業組合中津川支部より出張散髪料金の助成について制度創設の要望書をいただいております。これを受けまして、現在、県内他市で行われている同様のサービスの助成内容や実績について情報収集を進めるなど、制度について研究を進めているところです。(市民福祉部長)

問

訪問福祉理容美容の出張散髪の一部助成について

鷹見 信義



(市民福祉部長)

令和5年度 各会派の政務活動費収支

(単位:円)

使途基準	会派	中津川自民クラブ (12人)	市議会公明党 (2人)	市民クラブ (2人)	日本共産党 (2人)	中津川9の会 (1人)	地域コネクト (1人)	市民ネット (1人)	無党派 (1人)
調査研究費		411,900	0	0	0	0	0	0	0
研修費		0	0	0	0	0	0	0	0
広報費		0	0	0	0	0	0	0	0
広聴費		0	0	0	168,893	0	0	0	0
資料作成費		0	0	0	0	0	0	0	0
資料購入費		0	0	0	0	0	0	0	0
合計額 ①		411,900	0	0	168,893	0	0	0	0
市交付額 ②		1,410,000	240,000	240,000	240,000	120,000	20,000	120,000	120,000
返還額 (②-①)		998,100	240,000	240,000	71,107	120,000	20,000	120,000	120,000

消防団員の減少について

黒田 ころろ

全国的に消防団員が減少する中、中津川市でも例外ではなく、団員確保が困難です。令和2年と比べると100人近くが減少しています。中津川市でも最近で豪雨災害等増加しています。消防団員の減少は災害時にも影響が出てくると思います。

①平成30年度と令和6年度の総団員数と条例定数の充足率はいくつですか。

②消防団員のうち市職員は何人ですか。

③中津川市全市でもっと市民に消防団員を知ってもらうことに取り組んではいかがですか。

①平成30年度の総団員数1806人、充足率93.19%、令和6年度の総団員数1423人、充足率77.84%です。

②令和6年4月現在、基本団員94人、機能別団員6人計100人の市職員が活動しています。

③消防団各種行事やおいでん祭参加神輿をリニューアルし、団員募集をPRします。防災フェスティバルや団員募集のマグネット作成を計画しており、消防団員確保の取り組みは、今後も必要と考えます。



坂下診療所の民営化および病院化の進捗状況について

園原 武嗣

坂下診療所の純正会による民営化等について、東濃圏地域医療構想等調整会議で協議しています。しかし残念ながら調整会議での協議は難航しています。

①東濃圏地域医療構想等調整会議とは具体的に何を目的とした組織ですか。

②調整会議で協議が難航している理由について伺います。

③市長と地元医師会との意見交換および調整の進捗状況を伺います。

①中長期的な人口構造や地域の医療ニーズの質量的変化を見据え、医療機関の機能分化、連携を進め、良質かつ適切な医療を効率的に提供できる体制の確保を目的とした組織です。

②東濃圏地域医療構想等調整会議で提案している坂下診療所の病床確保等について、これまで開催された会議において、反対意見があり、進展していない状況です。

③いろいろな人の意見を聞いて、どのような影響があるか見極めていく段階であり、現在医師会と調整しているわけではありません。



令和5年度 各会派の政務活動費による取り組み報告

中津川自民クラブ

日 程:令和6年1月22日(月)~23日(火)

視察先:和歌山県海南市・橋本市

内 容:議員定数削減の経緯と現状について

成 果:議員定数は、一律に人口だけを考慮して決めるべきではなく、各自治体の地形・歴史・文化・社会構造・経済状況等を総合的に勘案しなければならないと思います。また、議員のなり手不足対策は、議員報酬の増額を考えると同時に、市民から見た議会の魅力向上と議員一人一人の資質向上について考え、何れも市民の皆様のご意見を伺いながら検討をする必要があると思います。

日本共産党

日 程:令和6年3月

項 目:市民アンケート

内 容:中津川市の課題である少子化や流出による人口減少の他、子育て・教育・雇用・医療・障がい者福祉・高齢者福祉・リニア事業など、幅広く市民の声をとり上げ議会活動に活かすためアンケートを作成しました。

成 果:全市に新聞折り込みを中心に市民アンケートの配布をしました。
(アンケート結果はR6年度中に集計し公開します。)

政務活動費の詳細はホームページ
をご覧ください→



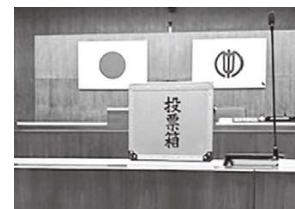
令和6年度 市民と議会の対話集会 (予定)

常任委員会ごとにテーマを決め、市民と議会の対話集会を行う予定です。日程等詳細が決まりましたらホームページ等で報告いたします。

台湾地震救援金について

4月3日、台湾東部沖で発生した地震により多くの建物の倒壊、土砂崩れ等により死者や負傷者が発生しています。

中津川市議会は台湾へ「地震救援金」として議員互助会から10万円を支出し、5月24日に日本赤十字社を通じて送りました。



市議会の正副議長の改選時投票になった場合には議場に投票箱を設置して、各議員が順次投票を行います。

日本共産党 2名

木下律子 田中愛子

子育て支援・地域医療・福祉・労働環境の改善・市民が主役の市政を目指します。

- ・**取り組み理由：**出生数の減少と若者の市外流出による人口減少があらゆる政策に影響を及ぼしています。全ての世代が中津川市で暮らし続けたいと思えるように、市民の声を市政に反映させる必要があります。
- ・**取り組み内容：**令和5年度に行なったアンケート調査の結果公表と市民より寄せられた要望に応えるため、先進自治体の事例の調査を行います。

中津川9の会 1名

鷹見信義

福祉・教育・子育て・防災・伝統文化「命と暮らしを守る」市政について

- ・**取り組み理由：**憲法9条を守り広げることが市民の「命と暮らしを守る」施策の土台となります。困ったときの子育て支援、高齢者・障がい者福祉のあり方、地域の安全環境整備は喫緊の課題です。さらに地域の伝統文化(風流踊り・諏訪太鼓)の継承が必要です。
- ・**取り組み内容：**私は障がい者の当事者として、当事者目線で取り組みの具体策を調査し提言します。

地域コネクト 1名

牛田敬一

行財政改革の推進について

- ・**取り組み理由：**ムリ・ムダ・ムラのない行財政運営が市民サービスの向上に直結するため。
- ・**取り組み内容：**
 - ・各種計画書の進捗状況を確認します。
 - ・市民との対話を積極的に行い、行財政改革に反映させます。

市民ネット 1名

黒田ところ

将来につながる、

1 地域防災力の強化 2 男女共同参画の推進

3 妊娠からの子育て支援

- ・**取り組み理由：**大雨やそれに伴う土砂災害が多発してきて、女性目線のある地域防災力の強化の取り組みが必要です。子育て支援も今まで以上に丁寧な取り組みが必要です。
- ・**取り組み内容：**地区防災計画の推進と女性目線のある持続可能な自主防災会の推進。放課後児童クラブの支援。安心して妊娠・子育てできる施策の充実研究

無会派 1名

園原武嗣

地域環境・農地・文化などの活用による定住促進と地域活性化について

- ・**取り組み理由：**中津川の美しい風景や文化は大きな魅力です。景観と農地を守めることは人口減少対策・防災・防犯・国防にも繋がります。美しい景色と暮らしを守り、若者が地元で暮らしたいと望む地域活性化と定住促進等が必要です。
- ・**取り組み内容：**遊休農地の活用、農業と食文化の活力増進、定住促進等の課題に効果のある方法を見出せるよう市民と行政が一体となり地域活性を図ることに取り組みます。

令和6年度 各会派の取り組み

中津川自民クラブ 11名

岡崎隆彦 吉村浩平 宮嶋寿明 林 友義
鷹見憲三 勝 彰 吉村俊廣 島崎保人
吉村孝志 長谷川透 小池菜摘

持続可能なまちづくりの推進について

- ・**取り組み理由：**リニアを活かしたまちづくりに向け、今取組むべきものを確実に推進するとともに、施設の老朽化などの課題に取組み、持続可能な魅力あるまちを目指し前進します
- ・**取り組み内容：**「リニアを活用したまちづくり構想」の実現に向けた政策形成に取組むとともに、行財政への監視機能を更に高めます。
 - ・リニア開業に向けた社会基盤整備の推進
 - ・斎場やゴミ処理場などのインフラ整備の推進
 - ・移住定住促進事業と少子化対策の推進

市議会公明党 2名

田口文数 糸魚川伸一

子ども（若者）・子育て世代・高齢者支援について

- ・**取り組み理由：**
 - ・深刻な人口減少・少子高齢化に対応するため、子どもを安心して産み育てられる、妊娠から子育てまで切れ目ない支援が必要であると考えます。
 - ・高齢者やひとり親家庭、ヤングケアラーなど支援の充実が必要であると考えます。
- ・**取り組み内容：**福祉・教育・防災等、国や県が進める政策について研究を進め、誰も取り残さない提言をしてまいります。

市民クラブ 2名

櫛松直子 松崎 誠

持続可能な市政への取り組み

- ・**取り組み理由：**人口減少に伴う少子・高齢化社会においては、市民サービスの多様化が必要であると考えられます。課題解決のためには、従来と異なった手法を積極的に取り入れ、先の時代を見据えた行政改革や新しい行政運営によって持続可能な市政を進めることができると考えます。
- ・**取り組み内容：**
 - ・「ゼロ・カーボンシティ中津川」を推進するための調査研究
 - ・国が進める行政DX化を推進するための調査研究

令和6年6月30日 第50回中津川市消防協会操法大会



優勝 福岡分団第4部



準優勝 坂本分団第3部



第3位 中津分団第1部



ラッパ隊

令和6年6月29日 川上流路工完成式(楽生館)



祝文楽

第7回 清流木曽川 中津川リレーマラソン



可知誠 新副市長就任

主な経歴

住所 恵那市山岡町
生年 昭和 36 年
学歴 愛知大学法経部

主な職歴

昭和 56 年 岐阜県に奉職
平成 29 年 リニア推進事務所長
令和 2 年 清流の国推進部次長
令和 4 年 恵那保健所副所長



議会開催状況 3月28日～6月27日

本会議	(5回)
総務企画委員会	(2回)
文教民生委員会	(2回)
産業建設委員会	(1回)
予算決算委員会	(3回)
議会運営委員会	(7回)
議会改革特別委員会(協議会含む)	(1回)
議員連絡協議会	(2回)

令和6年9月定例会の日程

8月29日(木)	10時	本会議(初日)
9月9日(月)	10時	一般質問
9月10日(火)	10時	一般質問
9月12日(木)	10時	産業建設委員会
9月13日(金)	10時	総務企画委員会
9月17日(火)	10時	文教民生委員会
9月18日(水)	10時	予算決算委員会
9月25日(水)	10時	本会議(最終日)

編集後記

新しい市長のもと、令和6年度がスタートしました。
リニアの工事をはじめ、様々な課題を抱える中津川市ですが、副市長も2人体制となり、より住みやすいまちを目指しています。
議会だよりでも今まで以上にわかりやすい情報発信をしていきます。



▲議会報編集委員会